

学校教育目標		めざす子どもの姿	総合評価												
だれにもやさしく げんきよく しっかり学ぶ たけしの子		<ul style="list-style-type: none"> 思いやりのある子ども 自分を高めていける子ども 	<div style="position: absolute; top: 0; right: 0; width: 100%; height: 100%; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, #ccc 49%, #ccc 51%, transparent 51%);"></div>												
今年度の重点目標		成果と課題								総合評価	改善策・向上策				学校関係者評価
重点1 ○にこにこ交流 ①つながりをつくる学級・安心できる人間関係づくり ②地域から学ぶ ③健康、安全安心のための家庭・関係機関との連携		学級づくりゲームで関係づくりを行ってきた。 クラス学年関係なく交流できている姿があつてとてもよい。 多くの方が学校に関心に向けてくださっている地域であり、体験活動を共にしていただいた。									・学級づくりゲームは、学級活動や帰りの時間等短時間でも継続して行い、内容を検討していく。 ・健康・安全については、家庭によって取り組みに差があるので、日常的に伝えていくことが必要。 ・学校保健委員会で取り上げ、協議・改善を図る予定。				
重点2 ○もくもく清掃 ①自発性を育てる自問清掃 ②道徳教育の充実 ③地域の教育力の活用		自問清掃は、たてわりの時の意識は良いが、普段の清掃には個人の意識の差がある。 反省の時間を確保できるようにした今の流れを続けていきたい。 道徳は週1で実践することができた。									・清掃集会等で、どのような活動を目指しているかを明確にし、どんな姿が良いのか、上級生・教師が例示する。 ・今後もたてわり清掃を軸に自問清掃をみんなで考え、武石の清掃の形を定着させたい。				
重点3 ○ばんばん学習 ①基礎基本の定着「4つの学び」の日常化 ②学習におけるユニバーサルデザイン化 ③武石っ子運動の充実 元気アップタイムの実施		UD化は、掲示物の精選を中心に行われている。 個々で考える時間を確保し、グループの話し合いやクラス全体での話し合いを大切にできた。 本当に子どもたちにとって必要なことは何か…選定したい。来年度に向けて日課の検討が必要。		・2学期に研究授業により、4つの学び、UD化について、深めたい。 ・日常的に授業を見合う、授業交換などを行っていく。 ・元気アップタイムで体力向上を図るために、目的意識を持たせて行う。											
教育 活動	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策							
	心身の健康と体力作り	<ul style="list-style-type: none"> 元気アップタイム等の運動で体力アップが図れたか。 メディアコントロールへの取り組みを意識づけることができたか。 	元気アップタイム終了後、サッカー、おにごっこなど外で遊ぶ子が増えた。 カードを使って記録等チャレンジを行うことでサインをもらうので、お家の人にも意識が広がっているが、取り組みに差がある。		○			<ul style="list-style-type: none"> 元気アップタイムによる体力向上について検討をし、日程・内容を来年度に向けて見直しをしたい。年間計画の作成。 学校保健委員会と年4回の(あと2回)のチャレンジ週間で習慣化・定着を図りたい。 							
	「書く力」を伸ばす実践	<ul style="list-style-type: none"> 「つむぐ」を活用しての積み重ね等、書く力を伸ばすための指導を行ったか。 	「つむぐ」は、めあてや振り返りができ、5・6年生は、その日の振り返りができた。 朝チャレで書くことを通して、書くことへの抵抗感が減ってきている。思いを工夫して書ける子が増えてきた気がする。 児童会の1学期の反省カードから「書く力」のある子が増えていることがわかる。		○			<ul style="list-style-type: none"> つむぐ強調週間を再度行い、全員が書く、ていねいに書くを徹底したい。 研究授業をもとに、「つむぐ」の活用でつく書く力とさらに発展させるためにどうしていくか研修を進める。 ノート等書き方のよいものを掲示して、意欲につなげる。 							
	「4つの学び」の日常化	<ul style="list-style-type: none"> 4つの学びを1時間の授業の中で意識して進めることができたか。 	すべての授業で意識できているかというところではない。 4つの学びを全部その時間にとというのは、難しいが、ねらうポイントをしばってという形では、意識しながらやった。		○			<ul style="list-style-type: none"> 「今日はこれを大切にする」など担任が常に意識して授業を仕組む。子どもたちにも伝え、意識させていきたい。 2つの研究授業等、授業を見合う機会を設ける。 							
	自主学習の指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 放課後自習室の活用や学習内容の提案と評価を行ったか。 	自主学習を自分でしっかり計画し、進められる子と宿題でいっぱいになってしまう子の個人差が出てきた。 放課後自習室の環境が充実し、自主学習に習慣化ができてきた。		○			<ul style="list-style-type: none"> 自己に合わせたプリントを選択し、印刷できるシステムにより、自主学習の内容充実へとつなげていきたい。 今後も利用する子を増やし、自主的な学習態度を身につけさせたい。 							
教育相談	個に応じた指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童、保護者の声を大切にしたい相談体制を行うことができたか。 	信友組の保護者会を1学期に2回行うことができたことで、保護者の声が直接聞けた。 担任だけでなく、複数の職員で一人の子、家庭に関わる雰囲気や体制ができていく。		○			<ul style="list-style-type: none"> 現在の相談体制を継続しつつ、必要な情報を係や全職員が共有できるように、学年会、職員会議、日々の情報交換を大切にする。 							
学校 運営	情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、学年便り、ホームページ等で学校の様子を伝えているか。 	学年便りを毎週出すことができ、学年便りで様子をしっかりと伝えられた。 おたよりとともに職員室前のモニターがとても有効だと思う。	○				<ul style="list-style-type: none"> 今後もおたより、モニター・写真などで子どもたちの姿を映して、子どもたちの意欲につなげたり、学校活動を知ってもらったりする。 							
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域から学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境を生かした学び、地域の教育力を活用することができたか。 武石川での遊びなど、地域で子どもたちは育てられていると思う。 地域に出るの学習や交流など積極的にできている。		○			<ul style="list-style-type: none"> 秋、冬の自然との関わりや地域の皆さんのかかわりから、武石という風土への理解向上を図りたい。 							
	教育ボランティアの活用	<ul style="list-style-type: none"> 学校や学級の実態に合わせて有効に活用できたか。 	学級の実態に合わせて、朝の読み聞かせ、学習支援・行事等保護者の皆さんがボランティアとして参加してくれた。 放課後自習室などでお世話になっている。	○				<ul style="list-style-type: none"> 現在ボランティアとして参加してくださっている皆さんに継続して関わっていただく。 昔遊びの会を活用して、人材の確保と継続した関わりを重ねたい。 							
	安全な環境	<ul style="list-style-type: none"> 学校環境 安全な通学路 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な学校環境づくりを行っているか。 安全パトロールを行い児童の登下校の安全を見守れたか。 	月一回の安全点検、年度当初の集団登下校、一斉街頭指導は2回行った。 事件後の対応など全職員でしっかりパトロールを行い安全確保に努めた。 週1回下校時見回りをし、下校指導と児童館との連絡を行っている。		○			<ul style="list-style-type: none"> 月に1回の安全点検を確実にすること、管理責任場所の安全を今後も確実にしていく。 下校時の防犯パトロール時に下校する児童が少ないが、順番での防犯パトロールは継続していく。 						

A…達成された

B…ある程度達成

C…達成にかける

D…達成されていない